

当金庫の取組み事例等について

地域の基幹産業の復興に向けた支援を
通じて次世代に誇れる三陸を創る

平成30年2月18日



気仙沼信用金庫



○様々な外部機関と連携を図った復興支援の取組み

主な施策・外部機関名等	平成 23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	...	実 績 [平成29年11月末現在]
① 三陸復興トモダチ基金 平成23年11月11日に設立し、平成26年度で基金の運営を終了。 金融機関ではあまり例のない国内NPO法人との連携事業。 基金拠出は、国際NGO、米国企業等により367百万円を基金化。									・起業家助成 76件 109百万円 ・雇用等助成 103件 160百万円 ・利子補給 244件 97百万円
② 三菱商事㈱・(公財)三菱商事復興支援財団 平成24年3月に設立。 同財団は、学生支援奨学金やNPOなどに対する助成金支給、被災地の産業再生や雇用創出に寄与するため、事業の再建や新規事業の立上げを目指す事業者への出資等を実施。									・12件 685百万円 ・平成25年2月に、出資配当金を組み入れる「気仙沼きぼう基金」を設立。
③ 信金中央金庫・しんきんの絆ファンド・しんきんの翼ファンド 信金中金が信金キャピタル㈱と共同出資により設立。 被災地域で事業再生に取り組む事業者や「創業・育成」や「成長」のステージにある事業者への資金支援を実施。									・しんきんの絆 15件 540百万円 ・しんきんの翼 1件 30百万円
④ (一財)気仙沼しんきん復興支援基金 平成25年12月に設立。 日本財団からの5億円の拠出により、気仙沼市、気仙沼商工会議所、当金庫が連携するスキームを構築。 利子補給制度等に加え、販路支援、地方創生関連プログラム等を実施中。									・利子補給 342件 364百万円 ・ソーシャル助成 7件 10百万円 ・産業復興支援制度により、販路支援、地方創生関連プログラム等各種事業を実施中。
⑤ 地産・都消プロジェクト 平成28年7月に、東京東信金と、業務提携に関する協定を締結。 本協定の提携事業は、両金庫における業務推進、取引先支援、人事交流等。 両金庫の取引先支援を目的に、気仙沼の水産物の都内飲食店等での消費拡大を目指す「地産・都消プロジェクト」を展開中。									・気仙沼メカジキの試食会(28年11月) ・三陸求評見本市視察等(29年2月) ・すみだまつりへの参画(29年10月) ・若手経営者の会との交流(29年10月) ・びがしんビジネスフェア2017(29年11月) ・墨田区食育推進連携イベント(29年11月)
⑥ 東北スモールビジネス振興プログラム 平成28年6月にNPOポジティブ・プラネットジャパンと業務連携契約締結。 起業家を中心としたビジネスセミナー開催、専門家派遣など経営・管理運営面での各種支援を実施。									・21先支援決定(@80万円上限)
⑦ 地方創生に係る包括連携協定(気仙沼市・気仙沼商工会議所) 平成28年5月に、気仙沼市および気仙沼商工会議所との間で、「地方創生に係る包括連携協定に関する協定書」を締結。 各々の実務的な担当窓口を設置、定期的に協議・情報交換会を開催。									・協議・情報交換会16回開催。
⑧ READYFOR㈱ 平成29年2月に、購入型クラウドファンディング事業を展開するREADYFOR㈱と基本協定書を締結。 創業や新規事業展開、新商品・サービスの開発等における支援態勢を拡充。									・1先支援決定。
⑨ 創業スクール 平成29年10月より、地域の新規事業の創出を支援するため、対面式の創業塾およびe-ラーニングを活用したサテライト創業塾を創設し、運営を開始。									・対面式の第1期創業塾は17名が12月に卒業。 ・e-ラーニングは16名が登録・受講中。



① 「三陸復興トモダチ基金」

- 平成23年(2011年)11月11日に設立し、平成26年度で基金の運営を終了。
- 金融機関ではあまり例のない国内NPO法人との連携事業。

1. 起業家助成制度 (76件 109百万円)

被災地域の住民が震災後の地域ニーズに対する起業家への助成金による支援。

【新規事業にかかる初期費用の50%（限度額150万円）を助成。】

2. 新規雇用・再雇用助成制度 (103件 160百万円)

被災して従業員を解雇した事業者が従業員を再雇用したり、新規雇用できるよう、従業員雇用の為の助成金による支援。

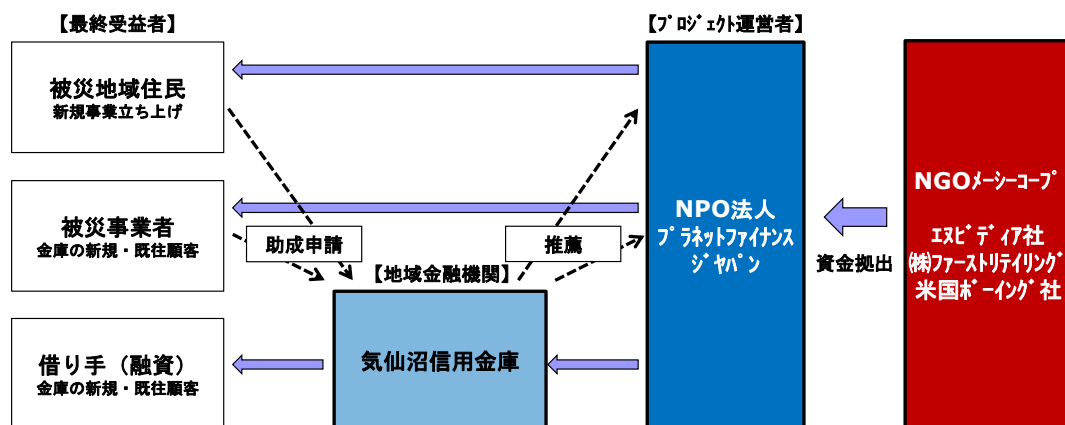
【一事業者最大2名まで、雇用した従業員一人あたり毎月10万円を1年間支給。】

3. 利子補給融資制度 (244件 97百万円 貸出金額1,994百万円)

当金庫が創設する復興支援融資商品に対する利子補給をもって、中小企業者の復興における資金確保の円滑化とその支払利息負担の軽減を図る為の支援。

【借入当初2年間分の利息を本基金から利子補給。】

□ スキーム図



- 特定非営利活動法人プラネットファイナンスジャパン
フランスに本拠地を置く国際NGOプラネットファイナンスの日本の拠点となるNPO法人。
- 国際NGOメーシーコープ
本件の各種助成資金(基金)の拠出先。
気仙沼港と姉妹港であるシアトルを中心に国際的に活動する非営利組織。



(平成23年11月11日の記者会見の様相。)



(平成27年12月1日の報告書完成報告会の様相。)

② 三菱商事(株)・(公財)三菱商事復興支援財団

- 平成24年3月に、多様化する被災地のニーズに対してより柔軟かつ継続的な支援を展開していくことを目的に設立。
- 同財団は、学生支援奨学金やNPOなどに対する助成金支給、被災地の産業再生や雇用創出に寄与するため、事業の再建や新規事業の立ち上げを目指す事業者への出資等を実施。

【事例】陸前高田市におけるホテル再建事業

当金庫の紹介を通じ、平成24年8月、地元のホテル事業者に対して、三菱商事復興支援財団との協働により、出資および融資による支援が決定しました

陸前高田市において、当該ホテルはシンボリックな存在であり、いまだ宿泊施設がない同市にとって非常に重要な施設となっています。また、開業時には20名程の雇用を予定しているなど、ホテル再建は被災地に希望をもたらすものとなっており、加えて出資支援に対する配当金は、自治体へ再配分するスキームとしており、地域にとっても有益であるとの評価を得ております。

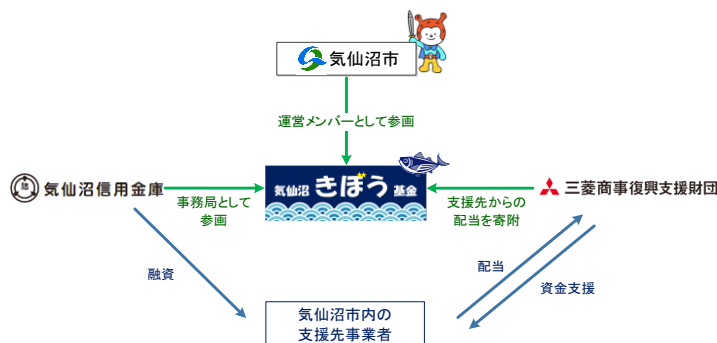
なお、本件は、同財団にとって第一号案件となりました。



(平成24年8月30日)

□ 『気仙沼きぼう基金』の設立

- 気仙沼市、(公財)三菱商事復興支援財団と連携し、共同で設立。
- 三菱商事復興支援財団が得る配当収入を原資に地域産業へ再投資する新たな『循環型スキーム』を構築。



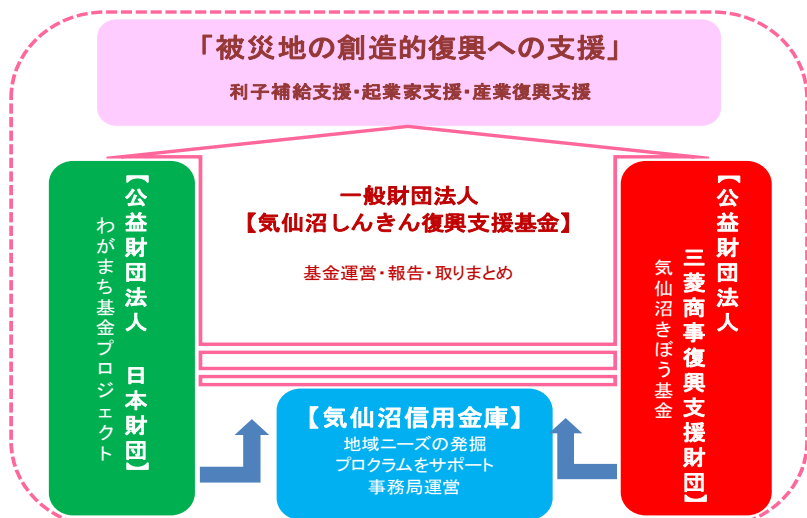
(平成25年2月5日)

④ (一財) 気仙沼しんきん復興支援基金

- 平成25年12月に設立し、以下の制度を創設。
- 地域復興への「思い」を繋ぐべく、**地元行政、会議所、信用金庫**が連携するスキームを構築。

- ① 「事業者向け融資利子補給制度……『**みんなの元気**』」
342件 16,769百万円（平成29年11月末）
- ② 「ソーシャルビジネス等支援助成制度…『**みんなの笑顔**』」
7件 10百万円（平成29年11月末）
- ③ 「産業復興支援制度……『**みんなの希望**』」

□ スキーム図



設立目的

地域経済の振興と地域社会の健全な発展に貢献することを目的とする。

事業内容

被災地域の産業復興や雇用創出への支援
ソーシャルビジネスやコミュニティビジネスへの支援

〈販路開拓支援事業の概要〉

- 主催：一般財団法人気仙沼しんきん復興支援基金
共催：(株)ゴールドボンド、気仙沼信用金庫
後援：気仙沼市、気仙沼商工会議所、復興庁宮城復興局、
(独)中小企業基盤整備機構 東北本部、宮城県気仙沼地方振興事務所、
(一社)気仙沼観光コンベンション協会、気仙沼ケーブルネットワーク(株)
- 実施期間：第1～3期[平成26年度～平成28年度]
実施内容：① 基本戦略構築支援事業
・ マーケティング力強化セミナーの開催
② ブラッシュアップ事業 ※以下の各事業は、支援対象事業者を選考のうえ実施
・ 販路開拓支援対象企業のブラッシュアップ
・ 商談会出席事前対策セミナー
③ 商談会・展示会出展事業
・ 商談会の開催によるマッチング支援
④ 分析結果等のフィードバック、事業報告



気仙沼信用金庫

⑤ 地産・都消プロジェクト ～ 1

- 平成28年7月、**東京東信用金庫**との間において、地域活性化と地域の産業振興の充実に資するとともに、両金庫が保有する経営資源を有効活用し、金庫経営の発展に資することを目的とした業務提携に関する協定を締結。
- 本協定の提携事業は、両金庫における業務推進、取引先支援、人事交流等。
- 震災で打撃を受けた気仙沼地域の漁業者や水産加工業者と都内の飲食店や食品関連事業者とを結び付け、販路拡大や差別化、高付加価値化を支援する産学官金連携による「**地産・都消プロジェクト**」を展開。

当金庫における販路開拓戦略塾
[平成26年度～平成28年度]

信用金庫業界のネットワーク
を活用した販路拡大支援
[平成28年度～]

【事業者における課題】

- ・ 震災で破壊された生産設備の再興に苦慮
- ・ 寸断されたサプライチェーンの回復に時間を要した
- ・ 単独では販路開拓に必要なマーケティング、営業活動に十分に取り組めない
- ・ 「**売れる商品**」へのブラッシュアップが必要

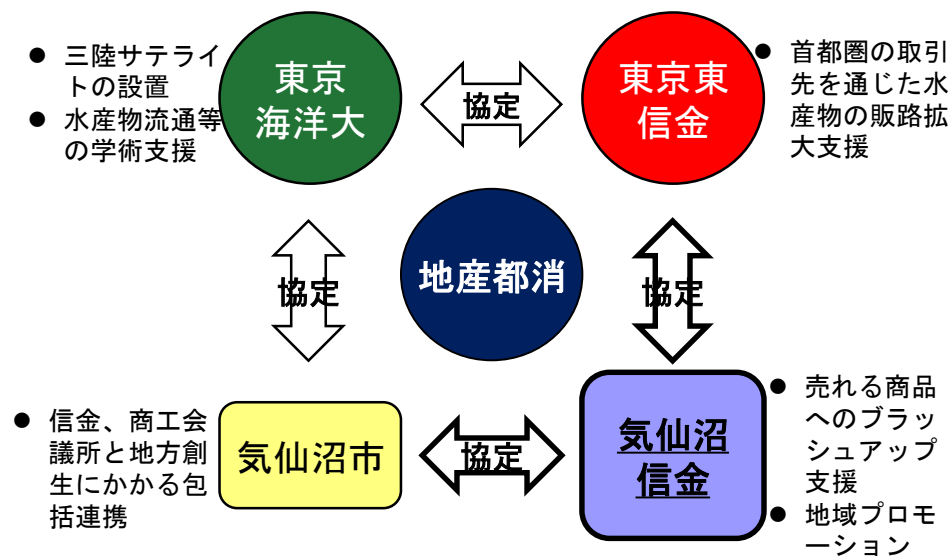
【当金庫での対応策】

- ✓ 商品力向上を目指す「やる気のある」事業者を選抜
- ✓ 専門家による戦略塾での講義、実践支援
市場環境や成功事例、SWOT分析、商品ブラッシュアップ
- ✓ 当金庫職員を専担者として配置して伴走型支援
新たな気付き、信頼関係を構築

【成果】

支援企業数**30社** 成約件数**108件** 販売金額**72百万円**

「地産都消プロジェクト」～産地と消費地を結ぶ～



⑤ 地産・都消プロジェクト ～ 2

『気仙沼メカジキの試食会』の概要

主 催：東京海洋大学、東京東信用金庫、気仙沼信用金庫
 協 力：気仙沼メカジキブランド化推進委員会
 気仙沼商工会議所
 (一財)気仙沼しんきん復興支援基金
 旬の味こうだい(気仙沼の飲食店)
 開催日時：平成28年11月17日、15:00～16:30
 場 所：和風居酒屋 遊人(東京都墨田区、東京東信金取引先)
 参 加 者：東京商工会議所墨田支部
 墨田区商店街振興組合連合会、(一社)てんてん
 向島橋銀座商店街協同組合、錦糸町居酒屋経営者
 ホテル関係者、その他東京東信金取引先
 気仙沼市、気仙沼商工会議所
 その他気仙沼信金取引先

[試食会の模様①]



[試食会の模様②]



[メカジキ刺身]



[メカステーキ]



[ニッキン(平成28年11月25日)]

地産都消メカジキ試食
 東京東信用金庫(東京都、相野隆理理事長)と気仙沼信用金庫(宮城県、菅原理理事長)は11月17日、業務提携(7月締結)の第1弾として「気仙沼メカジキの試食会」を都内で開催した。両信金の理事長や職員、プロジェクト関係者が都内の飲食店主らに地元の調理法でメカジキを振る舞った。

菅原理事長は、「おすめのしやぶしやぶを堪能して頂きたい」と、地元の名店で腕を振るう店主を連れて上京。気仙沼市や商工会議所の職員も「食の激戦地・東京からの率直な意見を伺いたい」と臨んだ。

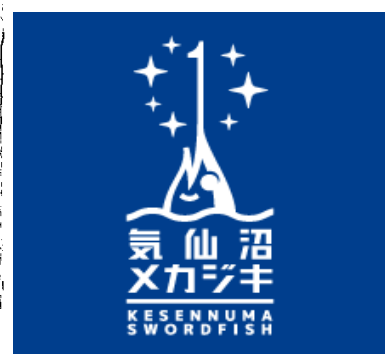
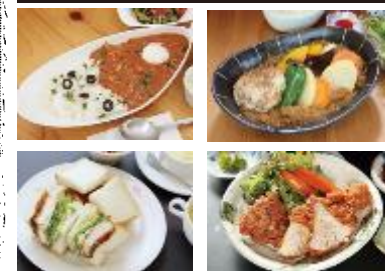
東京東信用金庫(東京都、相野隆理理事長)と気仙沼信用金庫(宮城県、菅原理理事長)は11月17日、業務提携(7月締結)の第1弾として「気仙沼メカジキの試食会」を都内で開催した。両信金の理事長や職員、プロジェクト関係者が都内の飲食店主らに地元の調理法でメカジキを振る舞った。



相野理事長(中央)も太鼓判を押す気仙沼メカジキの試食会場(11月17日)

気仙沼信金は地元の一食500万円を寄贈。金庫の復興支援基金から有志が立ち上げた「食のプロジェクト」に金1,000万円を寄贈。金庫の復興支援基金から有志が立ち上げた「食のプロジェクト」に金1,000万円を寄贈。金庫の復興支援基金から有志が立ち上げた「食のプロジェクト」に金1,000万円を寄贈。

梅ヶ崎理事長は、参加者から「独特の歯ごたえがあり、味も想像以上」な「商談に入りやすい」などの声が上がった。相野理事長は3月に気仙沼を訪問し、復興の現状を視察。仕入れ先候補への呼びかけに加え、課題となる流通業の取引先を見つけていく」とし、「地産都消」を前進させる考え。



気仙沼信用金庫

⑥ 東北スモールビジネス振興プログラム

- 平成28年6月にNPOポジティブ・プラネットジャパンと業務連携契約締結。
- 起業家を中心としたビジネスセミナー開催、専門家派遣など経営・管理運営面での各種支援を実施。

J.P.モルガン協賛「東北スモールビジネス振興プログラム」 スキーム概要



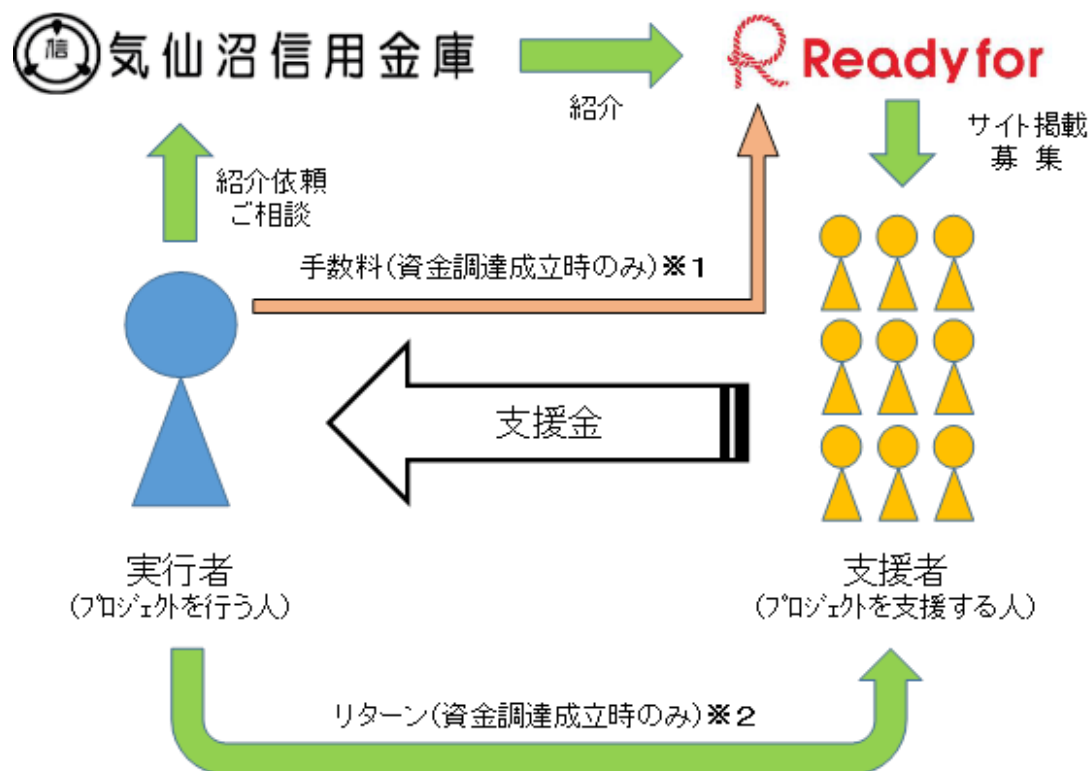
■ビジネスセミナー・交流会の様様（平成28年11月22日）



※本プログラムは、米国のJPモルガンチェース財団より助成を受けて、プログラム実施者である NPO ポジティブ・プラネットジャパンが助成金を活用して運営するものです。現地パートナーである気仙沼信用金庫と協働で2年間にわたって取り組みます。

⑧ READYFOR(株)

- 平成29年2月に、購入型クラウドファンディング事業を展開するREADYFOR(株)と基本協定書を締結。
- 創業や新規事業展開、新商品・サービスの開発等における支援態勢を拡充。



- 創業間もないなど、金融機関等からの資金調達が困難である企業等の資金調達手段の一つであると同時に、自社の商品やサービスのファンを獲得できるという販路開拓手法の一つとしても活用。
- 当金庫は、当社との連携により、地域における創業、地域の小規模事業者や中小企業の新規事業展開、新商品・サービスの開発等において支援態勢の拡充を図る。

※1 : 当金庫が支援協力した場合に限り、実行者が支払う手数料を一部減額いたします。

※2 : 調達した資金によって生み出された商品やサービスなどをリターンとして提供いただきます。

⑨ 創業スクール

- 平成29年10月より、地域の新規事業の創出を支援するため、対面式の創業塾およびeラーニングを活用したサテライト創業塾を創設し、運営を開始。

■気仙沼市における創業支援事業計画の概要

事業主体 (認定連携創業支援事業者)	気仙沼市 (気仙沼商工会議所、本吉唐桑商工会、気仙沼信用金庫)	
事業期間	平成 28 年度～平成 32 年度	
年間目標数	創業者数：29 件（創業支援対象者数：226 件）	
事業内容	気仙沼市	①個別相談窓口、②経営未来塾の開催、③創業支援補助金、④振興資金融資等
	気仙沼商工会議所	①ワンストップ相談窓口、②創業支援セミナーの開催、③経営計画作成支援、④WEBセミナーの開催、⑤チャレンジオーナー支援等
	本吉唐桑商工会	①ワンストップ相談窓口、②創業支援セミナーの開催、③ビジネスプラン策定支援等
	気仙沼信用金庫	①資金調達支援、②東北スモールビジネス振興プログラム、③創業スクールの開設等

■当金庫における創業スクール「モーカルファクトリー」の概要

創業塾	宮城県内の創業塾講師を多数務める波多野先生・大崎市古川の創業支援施設「alata」の立上げ・創業支援を行う伊藤先生を講師として、土曜開催、6時間×5回計 30 時間のプログラムを通じて、創業希望者の事業立案を支援するプログラムを提供する。
サテライト創業塾	一般社団法人MAKOTO（宮城県仙台市）と連携し、e-ラーニング講座を提供する。講座内容は、約 1 時間×29 講座とし、PC・スマホ等の媒体でいつでもどこでも受講可能。
フォローアップ等	創業塾生が作成した事業計画に基づき補助金申請支援、創業支援融資の活用等の支援実施を行うほか、卒塾者用のコミュニティを形成し、定期的な交流会を開催する。

[illegible][illegible]

ステップ FIRST-STEP

「好き」や「型」を形にする

「自分の個性・経験やスキルを武器にしたい」「第二職業、副業事業を始めたい」「自分と自分の得意な領域・強みに合わせて、新しいビジネスモデルを構築したい」この目標を「FIRST-STEP」と定義し、自身の事業実現に向けて「型」を模索し、無難かつ確実に実行するための、「得意な」領域や得意な人とのご縁を考えるとあります。

今年度、企業価値の向上・ビジネスの向上を促すとして多くの多岐分野で活動している女性起業家や経営者が共同研究会（次編）と連携し、自分の得意な一品を提供し、得意な人達と自分の得意な一職についていたりと考えています。

【実務研修】
 「得意な」領域や「得意な人」を把握できるといふ点から、得意な一品を提供する人達や得意な人と繋がることを目指すための研修です。

【実務交流フェスティバル（全5回）】 1月4日（木）1月17日（木）1月24日（木）
 第1回 1月4日（木） 第2回 1月17日（木） 第3回 1月24日（木）
 第4回 1月31日（金） 第5回 2月7日（金）

【交流フェスティバル】
目的 ① 得意な一品を販売する人達と得意な人達とが繋がること。得意な一品を販売する人達と得意な人達とが繋がること。得意な一品を販売する人達と得意な人達とが繋がること。

【交流フェスティバル】
場 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ㏀ ㏁ ㏂ ㏃ ㏄ ㏅ ㏆ ㏇ ㏈ ㏉ ㏊ ㏋ ㏌ ㏍ ㏎ ㏏ ㏐ ㏑ ㏒ ㏓ ㏔ ㏕ ㏖ ㏗ ㏘ ㏙ ㏚ ㏛ ㏜ ㏝ ㏞ ㏟ ㏠ ㏡ ㏢ ㏣ ㏤ ㏥ ㏦ ㏧ ㏨ ㏩ ㏪ ㏫ ㏬ ㏭ ㏮ ㏯ ㏰ ㏱ ㏲ ㏳ ㏴ ㏵ ㏶ ㏷ ㏸ ㏹ ㏺ ㏻ ㏼ ㏽ ㏾ ㏿ 㐀 㐁 㐂 㐃 㐄 㐅 㐆 㐇 㐈 㐉 㐊 㐋 㐌 㐍 㐎 㐏 㐐 㐑 㐒 㐓 㐔 㐕 㐖 㐗 㐘 㐙 㐚 㐛 㐜 㐝 㐞 㐟 㐠 㐡 㐢 㐣 㐤 㐥 㐦 㐧 㐨 㐩 㐪 㐫 㐬 㐭 㐮 㐯 㐰 㐱 㐲 㐳 㐴 㐵 㐶 㐷 㐸 㐹 㐺 㐻 㐼 㐽 㐾 㐿 㑀 㑁 㑂 㑃 㑄 㑅 㑆 㑇 㑈 㑉 㑊 㑋 㑌 㑍 㑎 㑏 㑐 㑑 㑒 㑓 㑔 㑕 㑖 㑗 㑘 㑙 㑚 㑛 㑜 㑝 㑞 㑟 㑠 㑡 㑢 㑣 㑤 㑥 㑦 㑧 㑨 㑩 㑪 㑫 㑬 㑭 㑮 㑯 㑰 㑱 㑲 㑳 㑴 㑵 㑶 㑷 㑸 㑹 㑺 㑻 㑼 㑽 㑾 㑿 㒀 㒁 㒂 㒃 㒄 㒅 㒆 㒇 㒈 㒉 㒊 㒋 㒌 㒍 㒎 㒏 㒐 㒑 㒒 㒓 㒔 㒕 㒖 㒗 㒘 㒙 㒚 㒛 㒜 㒝 㒞 㒟 㒠 㒡 㒢 㒣 㒤 㒥 㒦 㒧 㒨 㒩 㒪 㒫 㒬 㒭 㒮 㒯 㒰 㒱 㒲 㒳 㒴 㒵 㒶 㒷 㒸 㒹 㒺 㒻 㒼 㒽 㒾 㒿 㓀 㓁 㓂 㓃 㓄 㓅 㓆 㓇 㓈 㓉 㓊 㓋 㓌 㓍 㓎 㓏 㓐 㓑 㓒 㓓 㓔 㓕 㓖 㓗 㓘 㓙 㓚 㓛 㓜 㓝 㓞 㓟 㓠 㓡 㓢 㓣 㓤 㓥 㓦 㓧 㓨 㓩 㓪 㓫 㓬 㓭 㓮 㓯 㓰 㓱 㓲 㓳 㓴 㓵 㓶 㓷 㓸 㓹 㓺 㓻 㓼 㓽 㓾 㓿 㔀 㔁 㔂 㔃 㔄 㔅 㔆 㔇 㔈 㔉 㔊 㔋 㔌 㔍 㔎 㔏 㔐 㔑 㔒 㔓 㔔 㔕 㔖 㔗 㔘 㔙 㔚 㔛 㔜 㔝 㔞 㔟 㔠 㔡 㔢 㔣 㔤 㔥 㔦 㔧 㔨 㔩 㔪 㔫 㔬 㔭 㔮 㔯 㔰 㔱 㔲 㔳 㔴 㔵 㔶 㔷 㔸 㔹 㔺 㔻 㔼 㔽 㔾 㔿 㕀 㕁 㕂 㕃 㕄 㕅 㕆 㕇 㕈 㕉 㕊 㕋 㕌 㕍 㕎 㕏 㕐 㕑 㕒 㕓 㕔 㕕 㕖 㕗 㕘 㕙 㕚 㕛 㕜 㕝 㕞 㕟 㕠 㕡 㕢 㕣 㕤 㕥 㕦 㕧 㕨 㕩 㕪 㕫 㕬 㕭 㕮 㕯 㕰 㕱 㕲 㕳 㕴 㕵 㕶 㕷 㕸 㕹 㕺 㕻 㕼 㕽 㕾 㕿 㖀 㖁 㖂 㖃 㖄 㖅 㖆 㖇 㖈 㖉 㖊 㖋 㖌 㖍 㖎 㖏 㖐 㖑 㖒 㖓 㖔 㖕 㖖 㖗 㖘 㖙 㖚 㖛 㖜 㖝 㖞 㖟 㖠 㖡 㖢 㖣 㖤 㖥 㖦 㖧 㖨 㖩 㖪 㖫 㖬 㖭 㖮 㖯 㖰 㖱 㖲 㖳 㖴 㖵 㖶 㖷 㖸 㖹 㖺 㖻 㖼 㖽 㖾 㖿 㗀 㗁 㗂 㗃 㗄 㗅 㗆 㗇 㗈 㗉 㗊 㗋 㗌 㗍 㗎 㗏 㗐 㗑 㗒 㗓 㗔 㗕 㗖 㗗 㗘 㗙 㗚 㗛 㗜 㗝 㗞 㗟 㗠 㗡 㗢 㗣 㗤 㗥 㗦 㗧 㗨 㗩 㗪 㗫 㗬 㗭 㗮 㗯 㗰 㗱 㗲 㗳 㗴 㗵 㗶 㗷 㗸 㗹 㗺 㗻 㗼 㗽 㗾 㗿 㘀 㘁 㘂 㘃 㘄 㘅 㘆 㘇 㘈 㘉 㘊 㘋 㘌 㘍 㘎 㘏 㘐 㘑 㘒 㘓 㘔 㘕 㘖 㘗 㘘 㘙 㘚 㘛 㘜 㘝 㘞 㘟 㘠 㘡 㘢 㘣 㘤 㘥 㘦 㘧 㘨 㘩 㘪 㘫 㘬 㘭 㘮 㘯 㘰 㘱 㘲 㘳 㘴 㘵 㘶 㘷 㘸 㘹 㘺 㘻 㘼 㘽 㘾 㘿 㙀 㙁 㙂 㙃 㙄 㙅 㙆 㙇 㙈 㙉 㙊 㙋 㙌 㙍 㙎 㙏 㙐 㙑 㙒 㙓 㙔 㙕 㙖 㙗 㙘 㙙 㙚 㙛 㙜 㙝 㙞 㙟 㙠 㙡 㙢 㙣 㙤 㙥 㙦 㙧 㙨 㙩 㙪 㙫 㙬 㙭 㙮 㙯 㙰 㙱 㙲 㙳 㙴 㙵 㙶 㙷 㙸 㙹 㙺 㙻 㙼 㙽 㙾 㙿 㚀 㚁 㚂 㚃 㚄 㚅 㚆 㚇 㚈 㚉 㚊 㚋 㚌 㚍 㚎 㚏 㚐 㚑 㚒 㚓 㚔 㚕 㚖 㚗 㚘 㚙 㚚 㚛 㚜 㚝 㚞 㚟 㚠 㚡 㚢 㚣 㚤 㚥 㚦 㚧 㚨 㚩 㚪 㚫 㚬 㚭 㚮 㚯 㚰 㚱 㚲 㚳 㚴 㚵 㚶 㚷 㚸 㚹 㚺 㚻 㚼 㚽 㚾 㚿 㜀 㜁 㜂 㜃 㜄 㜅 㜆 㜇 㜈 㜉 㜊 㜋 㜌 㜍 㜎 㜏 㜐 㜑 㜒 㜓 㜔 㜕 㜖 㜗 㜘 㜙 㜚 㜛 㜜 㜝 㜞 㜟 㜠 㜡 㜢 㜣 㜤 㜥 㜦 㜧 㜨 㜩 㜪 㜫 㜬 㜭 㜮 㜯 㜰 㜱 㜲 㜳 㜴 㜵 㜶 㜷 㜸 㜹 㜺 㜻 㜼 㜽 㜾 㜿 㝀 㝁 㝂 㝃 㝄 㝅 㝆 㝇 㝈 㝉 㝊 㝋 㝌 㝍 㝎 㝏 㝐 㝑 㝒 㝓 㝔 㝕 㝖 㝗 㝘 㝙 㝚 㝛

[illegible]

○ その他

● チャレンジャースピッチ

- 第1回 平成29年3月14日(日)
- 第2回 平成29年7月25日(火)
- 第3回 平成30年1月28日(日)

- ・気仙沼等で新規事業の立上げを考えている方の事業構想を発表
- ・その想いを参加者みんなで聞き、考え、応援するためのプレゼンイベント
- ・会場／□ship(スクエアシップ／気仙沼市魚市場前7-13 海の市2F)



● 平成29年度 復興庁「新しい東北」 共創力で進む東北プロジェクト 「若者が稼ぐシェアリングシティ」

- ・平成29年8月19日(土)～ 20日(日)の2日間にわたり開催
- ・シェアリングエコノミーを活用した「共助」によるまちづくり・産業づくり
- ・会場／□ship(スクエアシップ／気仙沼市魚市場前7-13 海の市2F)
- ・参加者／アイデアソン参加37名, オブザーブ含む参加者約60名

